

AI 倫理

基本的な考え方

AIの活用がグローバルで日々進展する中、AIの誤った使用によって人権やプライバシーの侵害、差別や偏見の助長、公平性の欠如などが大きな課題となっています。

このような背景を踏まえ、TOPPANグループのPurpose(存在意義)である「Breathing life into culture, with technology and heart. / 人を想う感性と心に響く技術で、多様な文化が息づく世界に。」の実現に向けて、人間が中心のAI活用を適切に管理、監督していくとともに、テクノロジーを探索し、AIを有効に活用していく必要があると考えています。

本倫理方針は、総務省および経済産業省が策定したAI事業者ガイドラインと、これまでにTOPPANグループが制定してきた行動指針を中心に、人権方針、情報セキュリティ基本方針、サービス品質基本方針に沿って、AIの開発・提供・利用において遵守すべき事項を右記の7項目として制定しました。

「TOPPANグループ AI倫理方針」の構成

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ①人間中心のAI活用 | ⑤安全性の高いAIの提供 |
| ②人権と公平性の尊重 | ⑥サステナブルな社会・経済への寄与 |
| ③プライバシーへの配慮 | ⑦AI人財の育成 |
| ④透明性とアカウンタビリティの追求 | |

🌐 TOPPAN グループ AI 倫理方針 >

<https://www.holdings.toppan.com/ja/about-us/our-corporate-approach/ai-ethics-policy.html>

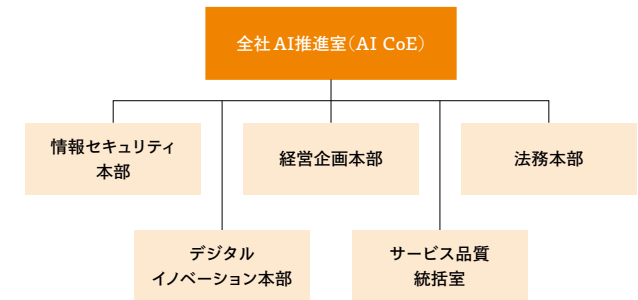
運用維持体制

AIの開発・提供・利用の全社的な推進を図るため、2025年4月にAI CoE(Center of Excellence)として「全社AI推進室」を設置しました。

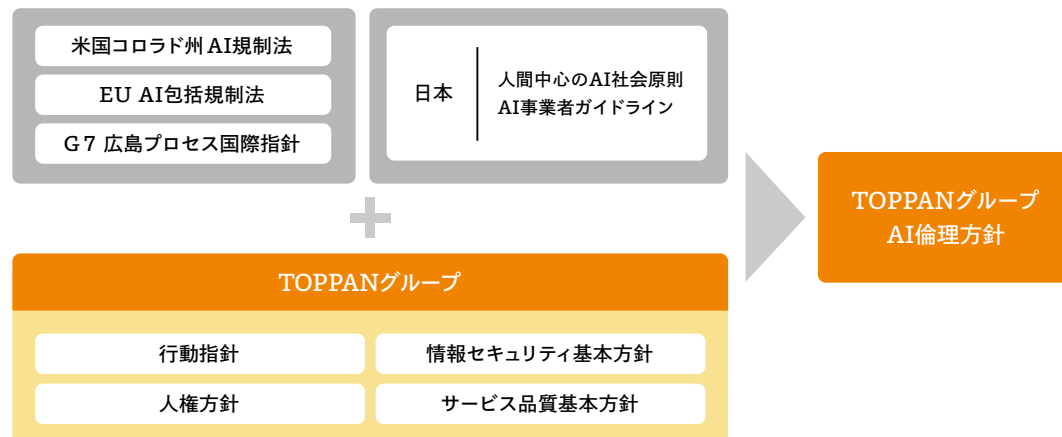
「TOPPANグループ AI倫理方針」に基づき適切な管理、監督を実施するため、全社AI推進室を中心として、下記体制図に記載の各専門部門のAI倫理担当者と連携を行い、TOPPANグループのAI戦略・方針の策定のほか、AI知識の集約と教育、技術支援を行っています。

このように各部門のAI倫理担当者が連携して統制を行うことで、全社的な統一性と多角的な視点を両立し、最新の技術やリスクに対して実効性の高いAI倫理の運用維持が可能な体制を整えています。

体制図



TOPPANグループAI倫理方針の基盤となる法律・指針等



AI人財育成の取り組み

TOPPANグループは、全社員を対象としたTOPPAN版生成AIチャットサービスの利用環境を構築し、2023年10月にサービス提供を開始しました。合わせて、AIを安全かつ効率的に活用するための、実践的なガイドラインの策定・周知を行うとともに、特にセキュリティ、倫理面でリスクが大きい生成AIについては基礎教育(eラーニング)を実施することで、全社員のAI活用リテラシーの向上を図っています。

さらに、AIガバナンスの社会実装に向け、実践的な課題を解決していくために設立されたAIガバナンス協会の会員としての活動を中心に、世の中の環境変化や技術革新の共通認識を深め、変化に応じてTOPPANグループAI倫理方針へ反映します。

こうした取り組みを通じて、誠実な企業として様々な社会課題解決に挑戦し、グローバル社会から尊敬される存在となるよう努めていきます。